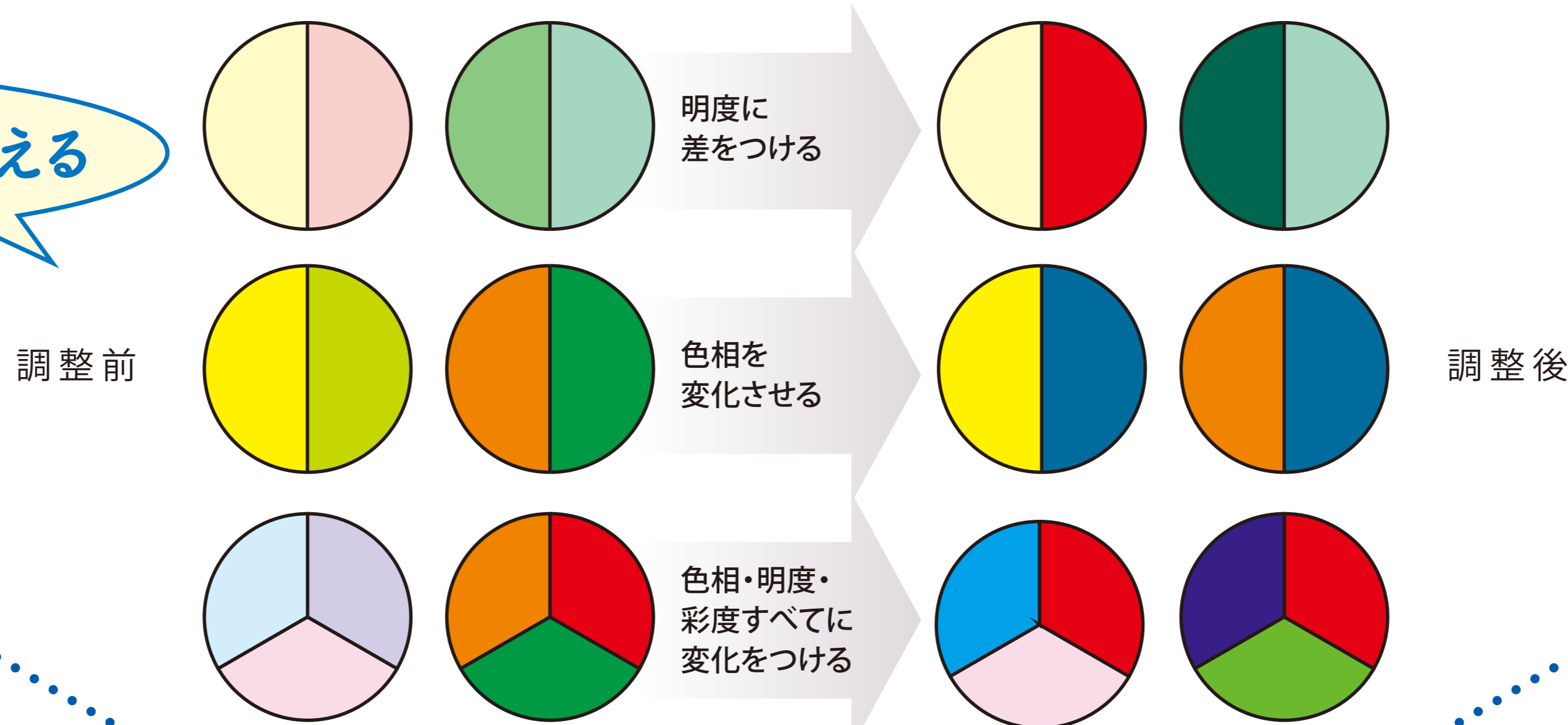


# カラーユニバーサルデザインの3つのポイント

## A できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ

サングラス上のフィルターを利用した「バリエントール」や、携帯電子機器のアプリケーションソフト「色のシミュレーター」、パソコンソフトの「フォトショップ・イラストレーター」のチェック機能などを使って、色の配色が見分けやすいものを選んでいきます。

色相・明度・彩度を変える



調整前

調整後

出典：ハート出版「CUD」

セパレーションを使う

調整前

調整後



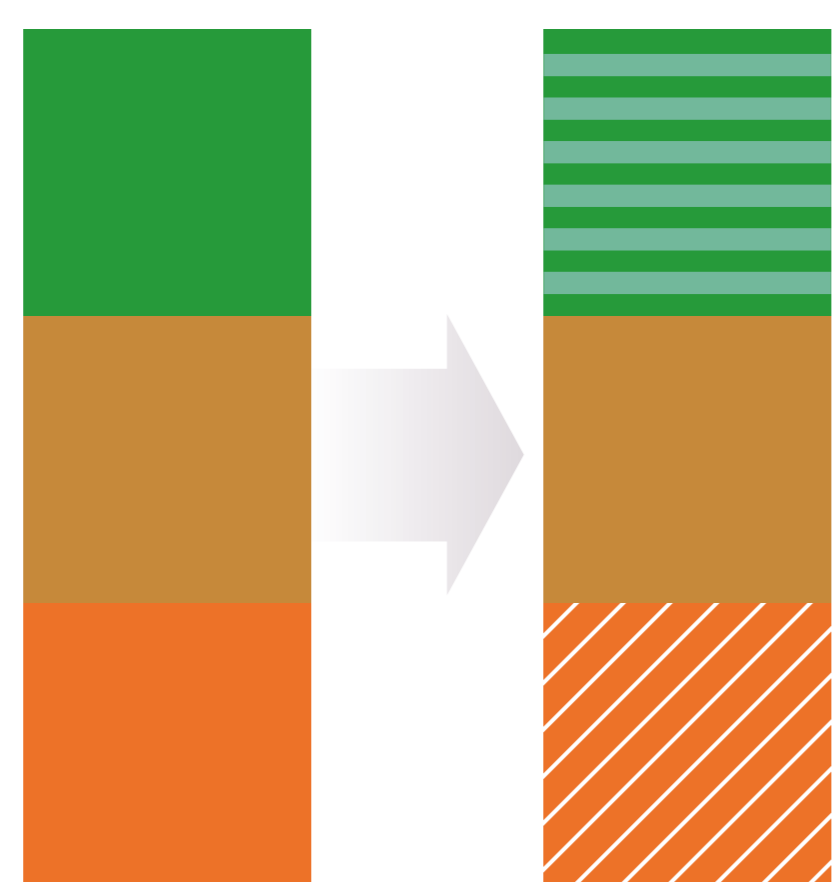
補助情報を入れる



ハチング（地模様）を使う

調整前

調整後



表現方法はこれだけでなく多用である。

出典：ハート出版「CUD」

## B 色を見分けにくい人にも、情報が伝わるようにする

色覚の違いは多様なので、どんなに配慮してもすべての人に見分けやすいとは限りません。そこで、色以外のデザイン要素でも違いをつけることが大切になります。

例えば、色と色の境目に白や黒の境界線を入れたり、線を太くする、色面積を広くするなど、いろんな工夫が考えられます。

## C 色の名前を用いたコミュニケーションを可能にする

最近のテレビのリモコンには、青・赤・緑・黄のボタンが付くようになりました。そのボタンには色の名前も書いてあります。施設の案内のために、床や扉に色を使っている場合、「緑の扉へ行ってください」と、色だけで指示をしても分からないことがあります。サイン自体に「緑」と色名を書いておくことで対策ができます。

# カラーユニバーサルデザインの進め方

カラーユニバーサルデザインの考え方は「色を使ってはいけない」というものではありません。情報を効率よく正確に伝達するためにカラーユニバーサルデザインの概念をよく理解し、色のユニバーサルデザインの視点に立ち色を工夫して使うことが求められています。

## Step1

### 色の感じ方の違いによって起こる問題を理解する

どのような色を組み合わせると問題が生じる可能性があるのか、今回の展示で紹介している色覚の違いや改善例を参考に身の回りにあるものをチェックし、新たに作成する際には意識して作成しましょう。

#### 色の判別が困難な環境例

- 対象物が小さい(色の面積が狭い、色文字が細い)
- 色を認識する時間が短い
- 色を見るとききの明るさが十分でない
- 対象物について、色の先入観がある

## Step2

### 色の組み合わせに配慮し、原案を作成する

まず、「カラーユニバーサルデザインの3つのポイント」に基づいて原案を作成します。

※色を選ぶ際は、東京大学、DIC株式会社、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構、社団法人日本塗料工業界、石川県工業試験場などが協力して作成した「[カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット/プロセスカラー版](http://jfily.ima.u-tokyo.ac.jp/colorset/)」などを基本配色資料として活用するとよいでしょう。→詳しくは右記載サイトをご覧ください。



<http://jfily.ima.u-tokyo.ac.jp/colorset/>

## Step3

### 支援ツールなどでチェックし、問題があれば修正する

パソコン上で使える支援ソフトや支援ツールなどを用いて、チェックを行います。

#### 支援ソフト・ツール

#### 「UDing CFUD」「UDingシミュレーター」

東洋インキ株式会社が登録制にて無償配布しているツールで、それぞれの色弱者の見分けにくい色をチェックしながら色の組み合わせを決めたり、配色できるソフトです。



<http://www.toyo-uding.com/>

#### 「色のシミュレータ」

浅田一憲氏が開発し、無償で配布されiphone、Andoroid、コンピュータのブラウザなどに対応しています。内蔵カメラや静止画(コンピュータのみ)の動画をCPDT型に変換し保存することもできます。



<http://asada.tukusi.ne.jp/>

#### 「Illustrator」「Photoshop」CS4～

世界中でもっとも多用されるデザインツール。2008年12月に発売されたCS4よりCUD校正ツールが全世界標準として搭載されました。デザインしながらP型、D型の色覚シミュレーションができます。



<http://www.adobe.com/jp/>

#### 「バリエントール」

伊藤光学工業株式会社が製造・販売している色弱模擬フィルター。色弱者の色の見分けにくさを一般色覚者が体験できるようにしたメガネ型特殊フィルタです。かけて見る、それだけでリアルタイムに配色チェックできます。



<http://www.variantor.com/>